

会報

日本食品化学学会 2018年度 総会 議事録

日 時： 2018年5月17日(木) 13:30～14:30

場 所： 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

議題 1. 2017年度事業報告の決定

以下の事業報告案が提出され、原案通り承認されました。

(1) 第2回食品科学研究のための基礎セミナーの記録

担当理事： 穂山 浩(国立医薬品食品衛生研究所)

日 時： 2017年1月21日(土) 10:00～15:00

場 所： 食品衛生センター内5階講堂(東京都渋谷区神宮前2-6-1)

セミナー内容：「実験研究の成果発表(エビデンス)の重要性について」

奥伊勢バイオサイエンスセンター 松尾 雄志

「学術論文の読み方、書き方(基本編)：Regulatory Scienceにおける論文の意味を踏まえて」

国立医薬品食品衛生研究所 食品部長 穂山 浩

「論文は自己表現の一つです。」

麻生大学 生命・環境科学部食品生命科学科食品安全科学研究室教授 小西 良子

ランチョンセミナー：

「学位論文を書くに至るまで」

三重大学大学院・地域イノベーション学研究所 教授 矢野 竹男

辻製油株式会社 研究員 伊藤 克

千葉県衛生研究所 上席研究員 橋本 博之

「皆が目指せるエレガントな論文作成 ～7年間のNIH留学経験から～」

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科教授 京都大学名誉教授 斉藤 邦明

「地方衛生研究所における研究と論文のまとめ方」

埼玉県衛生研究所 化学検査室長 石井 里枝

参加者： 89名

参加費： 会員(個人・法人) 2,000円、公的試験研究機関(非会員) 3,000円、大学(非会員) 5,000円、
企業(非会員) 10,000円

(2) ifa JAPAN 2017 食の安全・科学フォーラム第16回セミナー&国際シンポジウムの記録

テ ー マ： グローバルマーケットにおける食品のトータルな安全管理

From Farm to Table in Global Market

主 催： 日本食品化学学会、日本食品衛生学会、日本食品微生物学会

共 催： 食品化学新聞社、IFT、ILSI、中国食品添加剤・原料協会、JETRO、食品産業センター、

日本食品衛生協会、日本食品添加物協会、日本香料工業会、日本酵素協会、

日 時： 2017年5月24日(水) 10時00分～16時50分

場 所： 東京ビッグサイト 会議棟1階

演題及び講師：

第一部 世界の食品安全管理

「中国食品添加物法規格・基準概況」

張 俊波(食品安全国家基準審評委員会秘書長)

「アメリカでのフードサステナビリティの取組」

Ruben Morawicki(アーカンソー大学(IFT))

「東南アジア諸国連合 (ASEAN) における食品添加物規制ハーモナイゼーション」

Keng Ngee Teoh (味の素)

第二部 日本から安全な商品を世界に発信するには

「世界の食品香料規制の現状とグローバルハーモナイゼーション」

Sven Ballschmiede (IOFI 専務理事)

「世界に通用する食の安全管理とは」

一色 賢司 (一般財団法人 日本食品分析センター)

「酵素の規格、制度に係る世界の動向」

宇津羅 健作 (ナガセケムテック株式会社)

「グローバルマーケットにおけるマイコトキシン規格と我が国の取組み」

小西 良子 (麻布大学 生命・環境科学部食品生命科学科 教授)

参加者: 120名

参加費: 前売り一般全日 13,000 円、前売り一般半日 8,000 円、前売り会員全日 9,000 円、前売り会員半日 6,000 円、当日 18,000 円

(3) 第 23 回総会・学術大会の記録

学 会 長: 奥村 克純 (三重大学大学院生物資源学研究所 教授)

日 時: 2017 年 6 月 1 日 (木) ~ 6 月 2 日 (金)

場 所: 伊勢志摩ロイヤルホテル (志摩市磯部町の矢字笠取 939-6)

学会長講演: 「エピジェネティクスと食品化学」 奥村 克純 (三重大学大学院生物資源学研究所教授)

特別講演 (1): 「肥満・エネルギー代謝と食品機能」 河田 照雄 (京都大学大学院農学研究科教授)

特別講演 (2): 「香りを感じる遺伝子と脳」 東原 和成 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

特別講演 (3): 「食品安全行政の現状と課題」

山本 史 (厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部基準審査課長)

奨励賞受賞者講演:

「分子修飾による機能性食品成分の高機能化に関する研究」 片山 茂 (信州大学学術研究院 (農学系))

「安全性審査済み遺伝子組換え食品の検査法の開発」

高島 令王奈 (農業・食品産業技術総合研究機構食品部門食品分析研究領域)

「マウス非アルコール性脂肪性肝炎病態に Eicosapentaenoic acid と Docosahexaenoic acid が及ぼす影響」

煙山 紀子 (東京農業大学応用生物科学部)

一般発表: 口頭発表 22 題、ポスター発表 66 題

参加者数: 262 名 (内訳: 会員 127 名、非会員 54 名、学生 46 名、来賓等 35 名)

関連行事: ① 評議員会 (6/1)、編集委員会 (6/2)

② 若手優秀発表賞

・口頭発表部門

A-2 「オリーブ葉水抽出物による食品ゲルの物性改変」

赤澤 隆志 (香川大学大学院能楽研究科)

A-12 「タマネギ成分のマクロファージ活性化制御を介した抗腫瘍作用と新たな抗ガン剤のリード化合物としての可能性」

藤原 章雄 (熊本大学大学院 科学研究部細胞病理学分野)

・ポスター発表 社会人 部門

B-4 「におい嗅ぎ分析をベースとした電子嗅覚システムによるコーヒーの産地識別」

加藤 久喜 (東京アライドコーヒーロースターズ株式会社)

B-17 「シラカバ樹液の抗酸化作用と生活習慣病予防効果の検討」

三原 義広 (北海道薬科大学薬学部基礎薬学系医薬化学分野)

・ポスター発表 学生 部門

B-28 「食品廃棄物系バイオマスからのベンゼン環を含まない新規有機蛍光物質の生産」

廣川 侑美 (日大院・生資料)

B-36 「THP-1 由来樹状細胞を用いた食物タンパク質の抗原感作性評価」

鈴木 湧太 (信州大学農学部)

③ 交流会 (6 月 1 日 18:00 ~ 参加者数 136 名)

④ ランチョンセミナー 2 件、企業展示 16 件

参加費： 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円
交流会 事前申込 7,000 円、当日申込 9,000 円、学生 3,000 円

(4) 第 33 回食品化学シンポジウムの記録

担当理事： 小川 久美子（国立医薬品食品衛生研究所）
テーマ： 食品の表示と安全性の動向
日時： 2017 年 10 月 13 日（金）13:30～17:00
場所： 東京電機大学 千住キャンパス 1 号館（東京都足立区千住旭町 5）
演題及び講師

- 講演 (1) 栄養成分関連添加物について
三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学分野 森田 明美
- 講演 (2) 栄養成分表示のための分析方法に関する最近の話題
国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 竹林 純
- 講演 (3) 食品添加物—特に栄養成分・加工助剤・酵素のリスク評価について
国立医薬品食品衛生研究所 病理部 高須 伸二
- 講演 (4) 機能性関与成分の表示と機能性表示食品
国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 合田 幸広
- 講演 (5) 食品表示制度の現状と今後について
消費者庁 食品表示企画課 赤崎 暢彦

参加者数： 127 名（会員 74、非会員 34、学生・招待・報道 9、座長・講師 7、主催者側 3 名）
会費： 日本食品化学学会員 / 個人・法人会員 3,000 円、非会員 5,000 円

(5) 日本食品化学学会誌 第 24 巻の発行

第 24 巻 1 号の発行	発行日：2017 年 4 月 28 日	発行部数：950 部
論文 5 編 ノート 1 編		総頁数：60 頁
第 24 巻 2 号の発行	発行日：2017 年 8 月 25 日	発行部数：950 部
論文 4 編 ノート 2 編		総頁数：62 頁
第 24 巻 3 号の発行	発行日：2017 年 12 月 28 日	発行部数：950 部
論文 2 編 ノート 4 編		総頁数：53 頁

(6) 理事会及び各種委員会の開催

理事会：2 回、評議員会：1 回、編集委員会：1 回

(7) 会員数

2017 年 12 月 31 日現在：個人会員 590 名、法人会員 66 法人、名誉会員 18 名

(8) 共催、協賛・後援

- 1) 他団体が主催で、本学会が共催となる学術集会
依頼なし
- 2) 本学会が主催で、他団体に共催を依頼する学術集会の場合
第 33 回食品化学シンポジウム（日本分析化学会 表示・起源分析技術研究懇談会）
- 3) 他団体が主催で、本学会が協賛・後援となる学術集会の場合
<協賛> フォーラム 2017 衛生薬学・環境トキシコロジー（日本薬学会（環境衛生部会））
第 15 回高付加価値食品開発のためのフォーラム（日本食品・機械研究会）
第 15 回食品安全フォーラム（日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会）
<後援> 第六回低温・氷温研究会（氷温研究会）
- 4) 本学会が主催で、他団体に協賛・後援を依頼する学術集会の場合
依頼なし

議題 2. 2017 年度決算報告の決定

以下の決算報告書(案)が提出され、原案通り承認されました。

2017 年度決算報告書(案)

(2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費(個人)	1,863,000 円	1,779,000 円	学術雑誌発行費	3,900,000 円	3,600,734 円
会費(法人)	2,460,000 円	2,490,000 円	学術大会費	400,000 円	86,400 円
会費(賛助)	0 円	0 円	シボジウム費	200,000 円	60,997 円
投稿料	770,000 円	594,000 円	表彰費	470,000 円	417,736 円
広告料	840,000 円	985,000 円	会議費	250,000 円	126,360 円
雑収入	200,000 円	172,248 円	ホームページ運営費	140,000 円	144,699 円
			旅費・交通費	500,000 円	423,794 円
			賃借料	0 円	0 円
			印刷費	90,000 円	37,174 円
			郵送費	500,000 円	504,030 円
			振替手数料	80,000 円	74,938 円
			事務費	200,000 円	129,336 円
			予備費	50,000 円	0 円
(収 入)	(6,133,000 円)	(6,020,248 円)	(支 出)	(6,780,000 円)	(5,606,198 円)
前期繰越金	3,488,968 円	3,488,968 円	次期繰越金	2,841,968 円	3,903,018 円
合 計	9,621,968 円	9,509,216 円	合 計	9,621,968 円	9,509,216 円

2018 年 2 月 5 日

事務局長 山崎 裕康



会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2018 年 2 月 5 日

監 事 井之上 浩



尾崎 麻子



議題 3. 2018 年度事業計画の決定

以下の事業計画案が提出され、原案通り承認されました。

(1) 第 24 回総会・学術大会の開催

学 会 長: 中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)

日 時: 2018 年 5 月 17 日 (木) ~ 5 月 18 日 (金)

場 所: 東京ビックサイト (東京都江東区有明 3-11-1)

学会長講演: 「生活習慣病とがん: 食事組成の変化による動物モデル」

中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)

特別講演①: 「食品のリスク評価と食品安全委員会」

吉田 易範 (内閣府 食品安全委員会事務局 評価第一課長)

特別講演②: 「Glucose-releasing Rate (GR): an in vitro method designed to predict glycemic index values of foods and meals」

佐々木 一 (神奈川工科大学 応用バイオ科学部生命科学科 教授)

特別講演③: 「食品安全行政の現状と課題」

関野 秀人 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長)

特別講演④: 「森林資源の有効利用~キノコの機能性と人工栽培を通して~」

江口 文陽 (東京農業大学 地域環境科学部森林総合科学科 教授)

奨励賞受賞者講演

一般発表: 口頭およびポスター

関連行事: ①若手優秀発表賞、②交流会 (5/17、8F レストラン アルポルト)、③企業展示、④ランチョンセミナー

参加費: 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

交流会 事前申込 6,000 円、当日申込 8,000 円、学生 2,000 円

(2) ifia JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第 17 回セミナー & 国際シンポジウム

テ ー マ: 東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理

Mission of Food Safety for TOKYO 2020

主 催: 日本食品化学学会、日本食品衛生学会、日本食品微生物学会

共 催: ILSI、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日 時: 2018 年 5 月 16 日 (水) 10 時 00 分 ~ 16 時 50 分 (受付開始 9:30 分)

場 所: 東京ビックサイト 会議棟 6 階 605・606

定 員: 250 名

演題及び講師:

第一部 フードテロ対策の国際動向

「米国食品安全強化法 (FSMA) に対応した食品防御計画構築に向けた、脆弱性評価事例の紹介」

江藤 諒 (NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会)

「わが国の食品防御の取組」

山野 淳一 (農林水産省 消費・安全局)

「ロンドン 2012 での食品安全について」

ジェニー・モリス (英国食品基準庁)

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

「HACCP 制度化の動向と日本食品衛生協会の取組」

桑崎 俊昭 (公益社団法人 日本食品衛生協会)

「小売業における食品安全対策について」

岸 克樹 (イオンリテール株式会社)

「マルハニチログループのフードディフェンスの取り組み」

中原 千秋 (マルハニチロ株式会社)

「食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策」

工藤 由起子 (国立医薬品食品衛生研究所)

(3) 第 33 回食品化学シンポジウムの開催

担当理事: 井上 健夫 (三栄源エフ・エフ・アイ)

テ ー マ: 「食品行政をめぐる諸課題とその動向について」

日 時: 2018 年 11 月 1 日 (木) 13:00 ~ 18:30

場 所: 日本薬学会長井記念ホール

定 員: 200 名 / 事前登録にて受付し、定員になり次第、受付終了

会 費: 当日支払のみ / 会員 (個人・団体) 3,000 円、非会員 6,000 円、学生 無料

名刺交換会 1,000 円 (予定)

(4) 日本食品化学学会誌 第25巻の発刊

第25巻1号	2018年4月発刊
第25巻2号	2018年8月発刊予定
第25巻3号	2018年12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催

理事会： 1回、 評議員会： 1回、 編集委員会： 1回

議題4. 2018年度収支予算の決定

以下の収支予算案が提出され、原案通り承認されました。

(2018年1月1日～2018年12月31日)

収 入			支 出		
項目	単価	予算金額	項目	数	予算金額
個人会員 (583名)	¥3,000	¥1,749,000	学術雑誌発行費	3	¥3,300,000
個人会員 (滞納分)	¥3,000	¥138,000	学術大会費	1	¥400,000
法人会員 (66社 82口)	¥30,000	¥2,460,000	シンポジウム費	1	¥200,000
法人会員 (滞納分)	¥30,000	¥30,000	表彰費		¥380,000
賛助会員 (0社)	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料等		¥600,000	ホームページ費		¥160,000
広告料		¥900,000	旅費・交通費		¥500,000
雑収入		¥150,000	印刷費		¥90,000
			郵送費		¥500,000
			振替手数料		¥80,000
			事務費		¥200,000
			予備費		¥50,000
(収入)		¥6,027,000	(支出)		¥6,110,000
前期繰越		¥3,903,018	次期繰越金		¥3,820,018
合計		¥9,930,018	合計		¥9,930,018

議題5. 次次期 (2020年、第26回) 学会長の選出

理事会より金谷 重彦氏 (奈良先端科学技術大学院大学) が推薦され、承認されました。

議題6. 名誉会員の承認

理事会より米谷 民雄氏が推薦され、承認されました。

議題 7. 第 12 期評議員の選任

理事会より以下の候補者が推薦され、選任が承認されました。

(任期：2019年1月1日～2020年12月31日)

50音順

氏名	所属
秋場 高司	アサヒグループ食品株式会社 研究開発企画部
一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター
伊藤 澄夫	富永貿易株式会社
伊藤 美千穂	京都大学大学院 薬学研究科
伊藤 裕才	共立女子大学 家政学部
片山 茂	信州大学 農学部
川原 信夫	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター
魏 民	大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学
佐藤 恭子	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
堤 智昭	国立医薬品食品衛生研究所 食品部
鳥羽 真由子	サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社
長岡 寛明	長崎国際大学薬学部
林 新茂	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
政田 さやか	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部
松藤 寛	日本大学 生物資源科学部
宮下 隆	キューピー株式会社 品質保証本部 食品安全科学センター
森川 敏生	近畿大学 薬学総合研究所 食品薬学研究室
矢野 竹男	三重大学大学院 地域イノベーション学研究科
良永 裕子	麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科食品分析化学研究室
義平 邦周	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社

議題 8. 会則の改定について

理事会より以下の議題が提出され、承認されました。

- 第10条 (3) 及び (5) の改正
 - 第10条 (3) 理事「15名」を「15名以内」とする。
 - 第10条 (5) 評議員「30名以内」を「20～30名程度」とする。

その他

● 次期学会長挨拶:

次期学会長の中村宗一郎理事(信州大学理事・副学長)より挨拶がありました。

● 奨励賞および論文賞授与式:

理事長より奨励賞、論文賞および広告主論文賞が受賞者に授与されました。

第20回 奨励賞(五十音順)

- ・ 齊藤(北岡)千佳(麻布大学 生命・環境科学部食品生命科学科 助教)
研究課題:「二枚貝をはじめとした各種食品中呈味成分の食品化学的研究」
- ・ 政田 さやか(国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官)
研究課題:「薬用植物を基原とする健康食品の品質評価に関する研究」

第13回論文賞

- ・ 既存添加物チャ抽出物中のカテキン類含量と抗酸化力価の関係 (Vol. 24(1), 10-15(2017))
島村智子、伊藤裕才、久保勇人、柏木丈弘、石川洋哉、松井利郎、山崎 壮、多田敦子、杉本直樹、
穂山 浩、受田浩之
- ・ Hexane extract of raw ginger enhances adipocyte differentiation through its PPAR γ ligand activity on 3T3-L1 preadipocytes (Vol. 24(1), 16-24(2017))
Hideaki Kaneoka, Suguru Ito, Yuko Araki-Hashikawa, Takeo Yano, Katsuzumi Okumura, Norihiro Nishimura,
Kazuhiro Kagotani

第2回広告主論文賞<島津製作所>

- ・ ビルベリー由来アントシアニンを機能性関与成分とする機能性表示食品の分析
政田さやか、内山奈穂子、合田幸広、袴塚高志

以上